

ウエルハーネスだより7

242号

理事長からのことば

梅雨が明けました。関東地方は平年より1日、昨年より22日遅い梅雨明けです。開けた途端、ものすごい暑さですね。皆さん熱中症にはお気を付けください。

今年も梅雨の最後には、恐ろしい規模の集中豪雨が足利市や太田市といった両毛地方を襲いました。ここに住んで数十年たつが、こんなことは初めてだといった声が多く聞かれます。被害にあわれた方々には、お見舞い申し上げます。復旧に尽力されている皆さんに敬意を表します。

さて、高い支持率を誇っていた高市内閣ですが、支持率が急落しています。概ね50%前後、中には支持率が41%でなおかつ不支持が上回っているという調査結果もあります。予想より早く「高市離れ」が始まったのでしょうか？

支持率の低下は無党派層で顕著で、自民党支持層からも政策への疑問の声が聞こえています。低下の主因と考えられるのが、皇室典範の改正でしょう。男系相続にこだわり、旧宮家からの男子の養子の子に継がせるという点が国民の不興を買っているのでしょう。

かつて私は歴史学、中でも日本史を研究しました。専門は近代教育史ですが、埼玉地方史特に近世を研究する機関で働いていたことがあります。その時の学びの経験から言えることですが、男系長子の相続って、昔からそうだと思っている方が多いかと思いますが、明治憲法下で確立した制度です。鎌倉時代の武士団では女性の相続はざらにありますし、江戸時代までは女性も大切な労働力ですから、思っているほど男女の差はありません。男系長子ではなく能力のある者が家を継ぐというのが一般的です。また、男女同権の現代、男性のみの皇位継承というのは世界各国からも理解を得られないでしょう。官房長官がなぜ女性ではダメなのかという質問に数十秒答えられずに固まってしまったとのこと。やはり無理筋だというのはわかっているのでしょう。

さらに、数に物を言わせた強引な国会運営も不評を買っているようです。衆議院の議員定数削減や国旗損壊罪法等、そんなに急いで決めなくてもということでしょう。議員定数削減は国会の在り方に関する大切なことですし、さらに副首都法案のための国会延長、党利党略ととらえられても仕方ないかなと思います。

最近、80代の女性の投書を読みました。初の女性総理ということで高市さんに

上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹柿会
TEL：048-782-0575
FAX：048-782-0590
令和8年7月25日発行

期待していた。女性の地位向上のための政策、女性らしいきめ細かい弱者にやさしいバランス感がある政策を行ってくれると思っていたそうです。この投書に関しては「あれっ」と思いました。高市さんのスタンス、以前から全く変わっていないと思うのですが。全くぶれていないと思います。この女性のような考えの方が「サナ活」の正体なのかなとも思います。

高市政権の政策についてとやかく言うのは差し控えますが、以前から何度か書かせていただいているように、いろいろな人の意見、特に少数の立場、反対の人の立場に理解を示す姿勢を見せていくことが必要ではないかと思います。この支持率の急落が示すように、非常にバランス感がある国民性です。対立ではなく協調を重んじる国民性でもあります。今までの政権は、その辺をうまくコントロールしながら長期を見据えてやってきたのではという気がします。欧米諸国のような個が確立した価値観を持つ国民性ではありません。強引な政権運営はわが国にはなじまないのではと思います。

7～8月の行事

デイサービスでは、七夕にちなんだレクリエーションや制作等がおこなわれました。また、バンド演奏等のボランティア様にもお越しいただきました。

特養では、お誕生日会や七夕のレクリエーションが行われました。

8～9月の予定

デイサービスでは、8/4.5 にサマーパーティーを開催いたします。他にもさまざまなレクリエーションを企画しております。

特養では、お誕生日会等のレクリエーションを企画しております。

～お知らせとお願い～

①前回のおたよりでもお知らせさせていただきましたが再度お知らせ致します。

【後期高齢者医療保険資格者証】(特養のみ)

【介護保険負担割合証】(特養・ショート・デイ)

【介護保険負担限度額認定証】(特養・ショートの該当する方のみ更新申請お願いいたします)

の有効期限が7/31で切れます。

お手元に届きましたらお手数ですが施設までご郵送かご持参くださいますようお願い申し上げます。

②別送で【利用変更契約書】をお送りさせていただいております。

ご署名・ご捺印の上、一部を同封の返信用封筒に入れてご返送いただきたくお願い申し上げます。

七夕



Happy Birthday

